

WG 活動報告

4. 急性リンパ性白血病(ALL)【成人】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：田中 淳司	北海道大学病院	造血細胞治療センター(血液内科)
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
今井 陽俊	札幌北榆病院	内科
藤澤 信	横浜市立大学附属市民 総合医療センター	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
金森 平和	神奈川県立がんセンター	血液内科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson CRC	
古川 達雄	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科

② 2011年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator
Impact of donor sources on allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first complete-remission.	西脇 聡史

③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
2011/1/15	東京	研究計画についての討議

④ WG の今後の活動方針・抱負など

成人 ALL WG は 14 名(うち第一希望者 5 名)の比較的小じまりとした研究組織ではありますが、メール審議を重ねた後 1 月 15 日に初顔合わせと研究計画についての討議を行い、現在までに 6 件の研究計画を立案しています。まずドナーソースとの関連から 1.Impact of donor sources on allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first complete-remission.(名古屋大学、西脇 聡史先生)、ミニ移植に関連して 2.高齢者 ALL 患者に対する RIST の有用性と予後因子に関する研究(神奈川県立がんセンター、金森 平和先生)、3.急性リンパ性白血病に対する軽減前処置造血細胞移植に関する後方視的解析および骨髄破壊的前処置移植との比較(北海道大学、田中)、自家移植の有用性に関して 4.成人フィラデルフィア染色体陰性急性リンパ性白血病における第一寛解期自家移植と同種移植の治療成績の比較(愛知県がんセンター中央病院、加藤 春美先生)などの 4 件の研究計画が既に承認されています。また PhALL に関しては TKI の移植前後での使用や MRD と移植成績、再発などの関連が非常に興味深く 5. Ph+ALL を対象とした造血幹細胞移植における予後因子解析(藤田保健衛生大学病院、水田 秀一先生)、6.Impact of minimal residual disease at allogeneic stem cell transplantation and post-transplant tyrosine kinase inhibitor on Philadelphia chromosome positive acute lymphoblastic leukemia.(名古屋大学、西脇 聡史先生)という 2 件の研究計画を立案していますが、二次調査が必要であるために現時点では保留となっております。まずは二次調査不要の 4 件の研究について今後 IRB 承認を受けて、成人 ALL 移植成績の向上に資する情報を世界に発信すべく解析を進めていきたいと考えています。

(※2011/2/23 記)